

本 一久 (当院シンゲン室のX線透過性を報告)

24日(火)午後右の者に来て測ってくれました。
証明書不要で測定だけ故 ありがとうございます。

00-10-24 広島支店
下 瀬 博 之

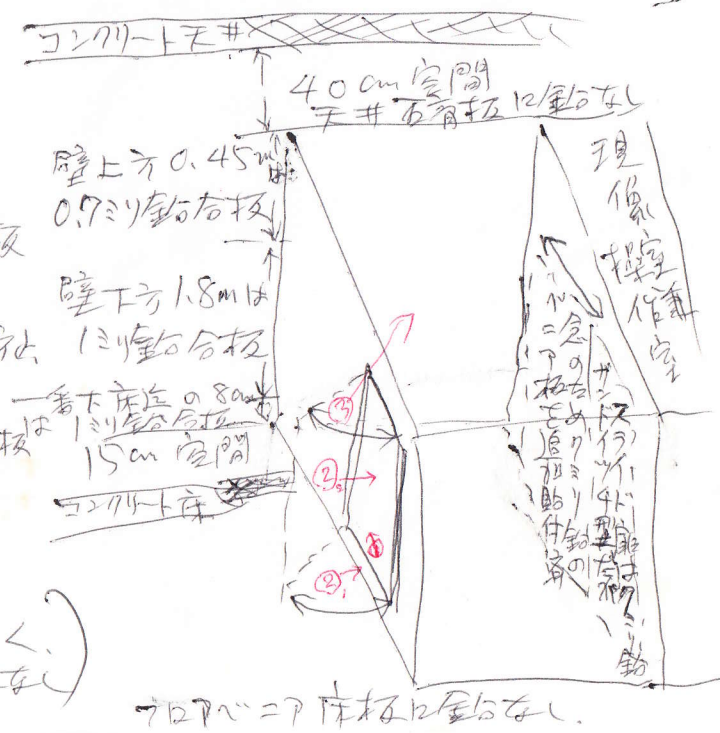
アロカ株式会社
〒733-0035 広島市西区南観音5-9-7
TEL: (082) 292-0019 FAX: (082) 292-6329
URL: <http://www.aloka.co.jp>

1. 0.7ミリ鉛板サバイブ4型古い回転座の室内側床面^{中央}は0.8ミリ^{2バット}鉛板
(X線方向は垂直固定(頭部撮影専用)の使用状態で、管球電圧は)
通常通り66kVP、線量は通常の2倍30mA秒(保健所検査はキカイの最大値125kVP50mA秒)

2. 回転座の室外側中央で床面の高さでも、座の中央の高さ0.9mでも0枚、遮蔽合格。
従って座の0.7ミリ鉛板の腐食化もなく、製作時の中央部鉛板欠けもないと思われる。
→ 中同期の新決から建替時に置いたもの、その何十年前か前に日本製鋼所広島製作所医務室
(本造)を鉄筋へ搬送時に壊した解体品。(X線59本0.7ミリ鉛板付ペーパー板0.9×1.8mを
外へ運ぶ時に壊れて軽いので疑っていた。そしてX線キカイ入替時に念のため欠けを
一番下の腰板貼替時に一部腐食化をなくあり1ミリ鉛板の端切れに交換したとあり)

3. 座外側に天井側へ向けて2と同様に
漏洩反射を測定したか0

尚、鉛板ペーパーはすべて表面側にX線反射防止板
を貼付し、裏面鉛板との間かペーパー板。
スライドアの散乱系も12は端片鉛板ペーパーで漏洩防止。
回転座の金具取付部と電源スイッチ箱
内側は、昔のペンAにフイルム内の小鉛板を押し
し貼付し、スイッチ箱表面も端切れ鉛板ペーパー貼付
(建替作つたペーパーと天井石膏板とに鉛板貼は無く、
それと天井コンクリート叩き出し空間に4周囲に鉛板を)



70Pペーパー床板に鉛板を。